

認証年度: 令和5(2023)年度

プラスチック製品

KYOEI キョウエイ サンギョウ カブシキガイシャ 協栄産業株式会社



〒323-0807

栃木県小山市城東2丁目32番17号

<http://kyoei-rg.co.jp/>

JR小山駅から徒歩15分

お問い合わせ先

TEL: 0285-22-7988

FAX:0285-24-1976

Email: kyoei@kyoei-rg.co.jp

ここがセールスポイント 日本初の『ボトルtoボトルリサイクル』から世界初の『FtoPダイレクトリサイクル』へ

協栄産業は1985年の創業以来ペットボトルリサイクルに取り組み、再生樹脂の品質を高め、新たな用途開発を進めてまいりました。2011年にはメカニカルリサイクル技術の確立により、使用済みペットボトルを再びペットボトルに生まれ変わらせる「ボトルtoボトル水平リサイクル」(CO2排出量を石油由来に比べ約63%削減)を日本で初めて実現。2018年には従来の工程の一部を省くことで、環境負荷低減と再生効率化を実現する「FtoPダイレクトリサイクル技術」を世界で初めて開発いたしました。これからも当社はボトルtoボトルを通してSDGsの達成、カーボンニュートラルの実現に向けて取り組んでまいります。

会社概要

代表者名 古澤 栄一

資本金 1億円

年商 約320億円

従業員数 約200名

設立 1985年10月

取得規格 ISO14001 ISO9001

主な拠点・主要取引先

拠点: 本社(小山市)、栃木工場(下都賀郡壬生町)、小山工場(小山市)、MR・ファクトリー(小山市)、東日本FtoPファクトリー(茨城県笠間市)、東京営業所、他

主要取引先: サントリーHG株式会社、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社、東レ株式会社、他

事業内容

- ◆合成樹脂再生加工販売
- ◆産業廃棄物処分量(中間処理)
- ◆産業廃棄物収集運搬業
- ◆産業廃棄物有効処理業
- ◆産業廃棄物処理プラント製造販売、およびそれに付随する機械部品処理装置の製造販売
- ◆物流資材の販売 ◆業務委託請負業
- ◆一般貨物運送業 ◆倉庫業
- ◆上記の業務に付随する一切の業務

わたが社の《リサイクル技術》にはこんな特徴があります！



当社の再生原料を採用した飲料ボトル



代表取締役社長 古澤 栄一

協栄産業は1985年の創業以来「分ければ資源、混ぜればごみ」を企業理念としてペットボトルリサイクルに取り組み、再生樹脂の品質を高め新たな用途開発を進めて参りました。優れた容器として進化し続けるペットボトルの歴史を、当社はリサイクルで支えています。

ペットボトルを再びペットボトルに戻す「ボトルtoボトル水平リサイクル」をスタートし、資源循環と経済成長を両立する「サーキュラーエコノミー」を実現しています。当社はリサイクルすることで様々な製品に生まれ変わるペットボトルリサイクル事業を通じて、「枯渇性天然資源の利用抑制」と「CO2排出削減」に貢献してまいります。

社長からのメッセージ

「限りある資源と豊かな地球環境を少しでも永く次世代に残したい」との思いから、1985年に創業しました。創業当時は大量生産・大量消費・大量廃棄の時代で、リサイクルに関しては、誰も耳を傾けてくれない状況でしたが、資源を持たない日本において、大量廃棄されていく資源を循環させていく必要があると考え、今日までペットボトルリサイクルに取り組んでまいりました。

当社が取り組むペットボトルの水平リサイクルは、国内資源循環の拡大、新たな石油資源の利用抑制ならびにCO₂の排出量削減といった効果があります。当社はカーボンニュートラルや循環型社会の実現のため、今後も挑戦を続けてまいります。

その他にもこんなものを造っています！

身近な製品にも当社原料が採用されています

高機能インナーからスポーツユニフォームまで。お客様のあらゆるニーズにお答えします。



一例: PET/PP・PET/PE・PET/ABS・PET/PC 他

多彩な複合素材が生産可能



当社製造の高純度再生樹脂は、ペットボトルは勿論、コンビニのアイスコーヒやサラダの容器、新幹線の座席シート、大手アパレルメーカーの高機能インナーなど、多くの身近な製品に採用されているだけでなく、欧州の有名サッカークラブのユニフォームやサッカー日本代表ユニフォーム(ロシア大会)、2022年に開催された「いちご一会とちぎ国体・大会」の栃木県選手団のユニフォームにも採用されました。当社はこれからも日本のモノづくりと国内資源循環を拡大してまいります。

